



社会福祉法人 **芙蓉会**

〒417-0001 富士市今泉2220番地
 電話 0545-52-0402
 F A X 0545-52-3655
<http://www.fuyoukai.org>
 介護保険施設
<http://www.migiwaen.com>

児童養護施設	ひまわり園	☎ 0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ園	☎ 0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	☎ 0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	☎ 0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	☎ 0545-55-1800
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	☎ 0545-55-1810
在宅介護支援センター	みぎわ園	☎ 0545-55-1811
通所介護	ふようデイサービスセンター	☎ 0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	☎ 0545-52-5500

川公分母川



ボランティア活動を
通して

芙蓉会理事 内田 冬子

今回は私が参加しているボランティア活動について書かせていただきます。

芙蓉会の掃除ボランティアを始めて早いもので十数年が経ちました。

「自分の家よりもきれいに」を合言葉に各自で掃除道具を持ち寄り、室内の清掃が終わると外の草取りや片付けなどを行いました。

人と人との和を大切に、月に一度の楽しみな作業でした。みぎわ園が平成十五年に出来てからは、みぎわ園での作

業へと替わり、花壇作りや草取りなどを行いました。

地域の方々にも理解と協力を得るために呼びかけを行い、平成十六年に「ふれあいボランティア」が誕生しました。八つのボランティアグループが毎月予定をたて、入所の方々のふれあい、車椅子の洗浄・窓ふきなどを一所懸命協力しあって行いました。

しかし、時が経つにつれ参加グループが減り、一年後には五つのグループとなり、二年後には解散することとなり

ました。

原因は何であったかと考えしてみると、施設とボランティアとが上手に接することができなかったためではないかと思いました。

今泉地域はボランティアが育ちにくい地域だと言われており残念に思いました。また人を上手に使う指導者とはと何時も考えます。

私が所属している「いづみ会」は八十歳近い人が奉仕だけでなく手芸をしたり、おしゃ

べりをしたりとコミュニケーション

ションをとりながら、時には地域のイベントにも参加をし、自分が気付き、できることを自分からやっという自主的な活動をお互いが無理をせず、自分の生活にあったペースで行うようにしています。無理をしないことが長続きの秘けつだと自分達の活動を通して学びました。

今後もボランティア活動を通して社会に貢献して行きたいと考えております。



委員会だより

安全衛生委員会

芙蓉会として、平成18年4月より安全衛生委員会を発足し、活動を始めました。

この委員会の目的は、①職員
の健康の維持増進を図ること②
感染症に対する対応方法や予防
方法を統一し、発症を最小限に
抑えることをあげ、毎月一回タ
イムリーな議題を取り上げて開
いています。

現代社会はストレス社会とも
言われていますように「イライ
ラしやすい」、「集中力がなくな
る」、「肩がこる」、「下痢をしや
すい」、「熟睡できない」など、
情緒的、身体的愁訴が増加する
傾向にあります。

職員の方々がどのようなこと
に対してストレスを感じている

のかを把握して、健康上の問題が
軽減できるように努めています。

その方法として次のものがあ
ります。自分でできるストレス
度チェック(現在のおよそのス
トレスの度合いが把握できます)
で一度チェックしてみましよう。

- ①頭がスッキリしていない
- ②ときどき立ちくらみしそつになる
- ③今まで好きだったものを食べたい
と思わなくなった
- ④肩がこる
- ⑤なかなか疲れがとれない
- ⑥何かするとすぐに疲れる
- ⑦仕事に対してやる気がでない
- ⑧寝つきが悪い
- ⑨ちょっとしたことで腹が立つ
- ⑩人と会うのがおっくうになっている

出典 「心と体の健康ノート」

(株)フィスメックより抜粋

3つ以上の項目に該当すれば
軽度のストレス状態が考えられ
ます。ゆつくりリフレッシュし
てみましょう。

他にも労働者の疲労蓄積度自
己診断チェックリスト、仕事の
ストレス度チェック等がありま
す。ご希望の方は、みぎわ園医
務室まで、お問い合わせ下さい。

次に施設で流行しやすい感染
症として、主なものに冬場はイ
ンフルエンザ・ノロウイルス、
夏場は細菌性腸炎(O-157)・サ

ルモネラ・腸炎ヒブリアがあり
ます。

目的の一つである感染対策に
関しては、職員一人一人が自分
の身を守り、媒体にならない方
法を理解できるように、常に新
しい情報を伝達講習会で伝えて
います。

感染対策のリーダーとして、
職員の「施設内感染防止」の意
識を高め、周知徹底できるよう
に指導・伝達を心がけていきたく
と思います。

簡単にできる感染予防対策





今回はひまわり園の夏休みの様子をお伝えしたいと思います。

わくわく

わくわくには、小学生が八人もいます。子どもたちの宿題は、職員へ出された宿題でもありません。子どもたちは、なかなか宿題に取組む気持ちになれません。身体は職員より大きいのに、ひつくり返ってへびの子どももいます。また、何とかやる気を出しても、なかなか理解が出来ず進みません。「個別にやる」「一緒にやる」という方法を試みることで、少しずつこなしています。わくわくの大きな行事は、今年で三度目になる黒川でのキャンプです。テントを張って、二泊

三日でお泊まりをします。自然の中でのびのび過ごし、大人も子どもも楽しめます。



さくらの学習風景



さくら キャンプ風景

りんどう

七月三十日、この日はりんどうで生活を共にしてきたYさん（小三）が地域小規模児童養護施設「ひろみ」へ移行する日でした。二つの施設は、約二キロの距離にあり、会おうと思えばいつでも会えるし、合同の行事もいくつかあります。それでも、八月三十日が近づくとつれ、寂しさが段々と増してきました。救いだったのは、当の本人が、笑顔で当日を迎えひろみへ出発したことです。

ひろみの職員と子どもたちがYさんを温かく迎えてくれたことに感謝しています。

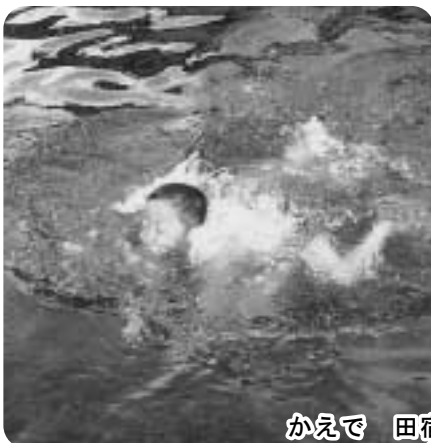
かえで

雨の多い夏休みでしたが、マリプールと田宿川での川遊びは、良い天気にも恵まれました。昨年のマリプールでは、水が怖くて泣いてばかりいた子が、

水に顔をつけたり、泳ぐ練習をしたりと、成長している姿を見ることができました。田宿川では、子どもたちが水の冷たさに驚いて大はしゃぎしていました。カワニナを捕ったり、川に飛び込んだりと、普段はできない遊びを満喫しました。



かえで 田宿川での川遊び



けやき

この夏、ユニットとしては始めて、一泊二日で須津川へキャンプに行きました。あいにく、二日も大雨に降られ、早めに引き上げてくることになりました。しかし、子どもたちは雨にめげず、川で思いっきりの遊びました。

キャンプ中、高校生の働きは素晴らしいものがありました。料理は下準備から調理まで、すべて自分たちでやってくれました。また、大雨の中の撤収作業といった非常にハードな仕事も、主体的に行ってくれました。大雨の中のキャンプでしたが、そんな中でも楽しみを見つける子どもたちに、たくましさを感じました。



けやき
キャンプ風景

銀河

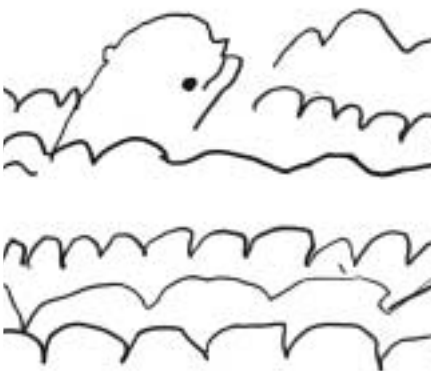
銀河は中高生男子が生活しているため、夏休みは、部活や宿題、アルバイトや就職活動など、忙しく過ごしています。そんな中、銀河の行事として、魚釣りに行ってきました。銀河の子どもたちは釣りが大好きなので、前日の夜から「明日は大物を釣るぞ」と意気込んでいました。残念ながら大物は釣れませんでした。したが、行事に参加した全員が魚を釣ることが出来たので満足したようでした。帰園後、釣った魚を調理して食べました。みんな良い表情で、釣り行事を振り返っていました。



大地

大地では、全員で八景島シーパラダイスに行きました。子どもたちが特に喜んだのは、「アクアスタジアム」での海の動物たちのショーと、「ふれあいラグーン」での魚やペンギンとの触れあいでした。

子どもたちは、かわいいシロイルカやアシカたちのショーを目を輝かせながら見ていました。また、普段触れることがないペンギンや魚に触れ、大興奮していました。幼児さんから高校生まで、大満足の一日でした。



Mさん(6才)「シロイルカ」

健闘を讃える!

第三十八回静岡県児童福祉施設夏季球技大会において、小学生チームが優勝、ベストチームが第三位という好成績を残すことができました。

小学生の部は十年以上にわたる静岡恵明学園児童部の独壇場でした。今年はその相手に予選、決勝、更に延長戦を戦い、両者譲らず引き分け、最後にはジャンケンで勝敗を決するという形でしたが結果的に優勝を勝ち取りました。子どもたちの努力が実を結んだ瞬間でした。



優勝後集合写真



オムツがとれますように



大きくなれますように



健康でありますように

短冊を笹の葉に飾り付け、お星様にみんなの幸せと成長をお願いしました。

七夕

みづらえん



お水掛けちゃうぞー



冷たくて気持ちいいよ



お水怖くないよ

去年は水が顔にかかること泣いていたS君も、一年経った今では入っちゃらになりました。

水遊びデビュー



大きなだいこん抜けるかな

みづら園では身近な食べ物に関心を持って、もりのえんちゅう、畑には、キュウリ、トマト、ダイコン、サツマイモなどを栽培しています。子どもたち



食糧の産地をめぐり



レインコート似合う?

雨どきだまのこぼり

は、先生に「Eaten by」キュウリであったよ。」と教えてくれます。作物が大きくなっていく過程を見て楽しむ収穫の喜びを感じることが出来ます。収穫された野菜は調理され味わって食べています。野菜作りを通して食べることの大切さを一層深めていけるよう実践しています。



キュウリ採ったよ



泥だらけになっちゃった

雨上がりのあめろ、ロ、コンロートを着て外で元気に遊びました。

ふよう

デイサービスセンター

6月から10月にかけてのふようデイサービスの主な行事

6月 運動会

7月 七夕祭り

8月 納涼祭

9月 敬老会

10月 福祉展見学

※注

毎月の恒例行事としてカレンダー作り、お菓子作り、手芸、ゲームなどイベント盛りだくさんで行っています。

納涼祭

デイサービスでは、8月には恒例の納涼祭が開催されました。流しソーメン・カキ氷・ヨーヨー釣り・射的など福祉体験に来た中学生と一緒に楽しんでいました。

流しソーメンは、竹を縦に割り水を流し『行きますよ』の声かけに、皆様竹の中へ箸を入れ、上手にそつめんをすくい『おいしい、おいしい』と喜びが上がって下さいました。沢山の笑顔が見られました。



御長寿番付

東

横綱 金澤 ふさ(100才)
大関 磯野 虎子(95才)

西

横綱 渡井ひさ子(96才)
大関 関根 留吉(94才)

これからお誕生日を迎える

御利用者様

9月

前田 永子様
秋山 貞子様
桜井 秀子様

10月

池田ゆき糸様
今野 鉄蔵様
小林すゞ代様
関根 留吉様
加藤 あき様
小笠原定子様
中村 春雄様

11月

金沢 心さ様
篠原 政夫様
深沢 秀様
佐野 一雄様

みぎわ園

1F 南

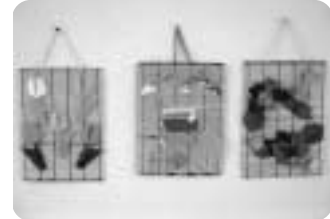


いせ・みかわ

虫の音に近づく秋を感じます。

私たちユニットでは季節を感じる行事やレクリエーションを毎月行っています。

七月には近況報告を兼ね、富士まつりの花火見物のお誘いのハガキをご家族様にお送りしたところ、大変喜んでいただき、わざわざお礼の電話をくださった方もいらっしゃいました。



レクリエーションでも、利用者様と季節感あふれる折り紙製作を毎月行い、様々な作品ができて上がっています。その他にもカレンダーや手作りの御輿なども作成し、ユニット内はとて

ちやかです。

10月14日からロゼンアター

で行われる福祉展にも作品を出品する予定です。皆様も一度お立ち寄りいただき作品をご覧になって下さい。

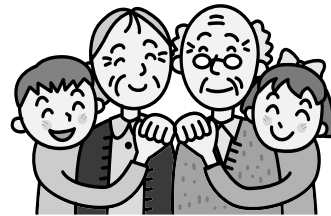


1F 北



するが・さがみ

九月に敬老の日がありますが、今まで何故九月なのかは正直知りませんでした。調べてみたところ、一九五〇年に兵庫県で「としよりの日」を提唱したところから始まったそうです。「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」と、農閑期に当たりの気候も良い九月中旬の15日を「としよりの日」と決めたとです。その後「としよりの日」という表現は良くないということで、「老人の日」を経て昭和41年に国民の祝日の「敬老の日」になったそうです。



介護の仕事に就いて初めて知った豆知識ですが、50年以上前にお年寄りの存在のありがたみや「よっつゝ気ひいたんだ」と思ったり、何となく寂しい気がします。

介護の仕事をしてゆく上で老人を敬うことは当たり前のことですが、それ以上にいろんな知恵・知識を教えてもらい、また昔のいろんな話を聞いて、自分の今後の人生に活かせたらと思います。

2F



くすのき・もくせい

私達ユニットでは現在、福祉展への作品を利用者様と一生懸命作製しています。集中して細かい作業を午前中継続できる方もいらっしゃれば隣の方の作業を目を細めてながめている方もいらっしゃいます。

私達もそうですが、向き不向きがあるのは、あたりの事です。作業が苦手な利用者様の中にはナツメコを合唱しながら応援してくれている方もあります。個々の人格を尊重し、その方の出来る事などを私達も手助けさせて頂きながら、現在の生活レベルを低下させず維持出来る様に工夫し、心地良い空間を作って行きたいと思っています。職員の声掛けは特に、大切だと感じています。声掛けをさせていただくと昔の事のお話や、地名などは、よく覚えていらっしゃるって目を輝かしながら話して下さいます。

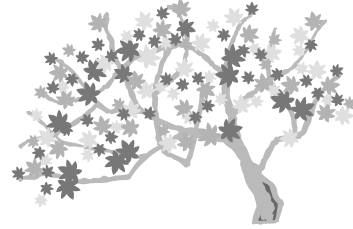
これからも、利用者様方の笑顔に会える事を楽しみに私達は、声掛けを大切にしていきたいと想っています。



3F

あしたか・あまぎ

私達のユニットでは、利用者様一人ひとりの心身の状況・生活習慣・個性などを具体的に把握し、そのうえでその方のリズムに沿った生活と、ほかの利用者様との交流を支援できるように努めております。



また利用者様に季節の変化を感じて頂くため、四季折々の行事を行っています。春には桜の下で食事をしたり、夏にはグラウンドで花火大会、秋には外出をして紅葉を楽しみ、冬にはクリスマス会など、参加した全員が笑顔になれるように取り組んでおります。

そして何よりも、不安のない生活を送って頂く為にも、利用者様と職員の信頼関係を大切にし、可能な限り住み慣れた環境に近い場の提供を心がけ、最期までその人らしい人生を送る事ができるように支援してまいります。

今後とも日々のケアの向上を目指し、笑顔のたえないユニットを利用者様と一緒に作り上げていきたいと思います。

ショートステイ

みぎわ園

9月19日に毎年恒例の『みぎわ園敬老会』が開催されました。ショートステイ御利用者様は住んでいる各地区で行われている敬老会に参加されていると思いますが、当日泊まりに来られている御利用者様は『みぎわ園敬老会』にも参加して頂きました。午前3階地域交流室で敬老会催し物を見学し、豪華な昼食を食べた後、ショートステイ独自の敬老会に参加し素敵なプレゼントをもらって充実した一日を過ごして頂きました。スタッフも御利用者様の笑顔を頂き、大変満足いたしました。

ちなみに、ショートステイ御利用者様の平均年齢は男性84歳・女性87歳、最高齢は、男性99歳・女性はなんと101歳です。特に、この101歳の女性の御利用者様は歩く事は多少不自由ですが、車椅子で自走され食事は好き嫌い無く残さず全て召し上がり、本を読む事が好きで眼鏡を使わずに新聞や雑誌を読み、日々過ごしています。その姿は『尊敬』の一言であり頭が下がります。

いつまでも利用者様がお元気でいらっしやるように職員一同願っております。



デイサービスセンター

みぎわ園

「個」を大切に”をテーマに活動させていただいております。デイサービスセンターみぎわ園、今回はそんなデイサービスセンターの日頃の風景をご紹介します。



今後ともさまざまな行事を企画させて頂いて活動していきたいと思います。

ひろみ日記

夏休みが始まって、全員が少し緊張気味に新しい仲間を迎えま

した。
一人増えて、ひろみの雰囲気も活気付き、これから頑張るぞと、

気合が入るのを感じました。
先輩の子どもたちは、やさしい言葉で、わからない所を教えてあげて、いろいろと世話をしてくれて

います。時には、おせっかいがすぎる事もあります。
「うちは、しっかの出来るように言っておいて、さあ」とAさん。
「何回も言われると、イヤになる」と、Bさん。行動的なAさんと、のんびり屋のBさんの主張は、泣きながらのお互いの訴えになり、少しの間、自分の思いをゆずらないで二人とも頑張っていました。
通りがかったAさんのお姉さんに、「おまえは、人におせっかいをやめろよ」と、相手のことも考えて、言っておきな」と、注意されて、しよとぼろのAさんでした。

ひろみで

は、今まで一番年下だった

ので、やっと世話をし

てあげられると、期待していたよう

ですが、自分の思っていたことと違ったので、少しガッカリした様子

でした。
「はらへんて、二人で握手して、

「めんなわ」と、仲なおろすことが出来ました。

そんな素直な子どもたちの成長していく姿を、側で見守って行くことに、保育士として喜びを感じます。そして、ごく普通の事をごく普通の事として出来る人になってくれることを願いながら、子どもたちと一緒に、これからも成長して行きたいと思います。



ありがとう

当法人にたくさんのご寄付をいただきありがとうございます。お礼申し上げます。ご紹介させていただきます。 — 敬称略 —

芦澤志津代、(株)アウトソーシング、(株)東食品、荒川泰子、石川タクシ、富士(株)、飯塚政子、(株)一商会、伊藤会計事務所、池田ミツヨ、植村真、植村一郎、内田和義、内田冬子、えとわある、遠藤喜美代、遠藤良子、小川憲一、神尾みつ子、片岡歯科医院、上村鮮魚、梶本衛、木元丈太、木下大サーカス静岡公演事務局、栗清、クロク薬局、慶昌院、小林栄子、小穴管登、佐野きく江、坂本博、サンコー防災(株)、篠原桂子、親切会中部支部、島村年一、静岡労務経営研究所、白鳥恵里名、須藤和夫、鈴木電気管理事務所、鈴木民江、杉山富雄、(有)鈴吉商店、杉山富栄、鈴木英之、装費アリバリーサービス、谷口琴江、滝澤芙美子、田中徹、(株)大松園、月岡米子、土屋医院、中村雅恵、布田保孝、長谷川麻菜、蜂須賀智美、原村ゆき子、原睦雄、船越裕一・武田清美、藤田幸江、本多光雄、増田

悦男、松野精肉店、(株)まるか久保屋、緑ヶ丘町内会、水野宏一、望月喜久江、望月節子、山川実夏、山本義治、ヤマグチ電機(株)、(株)ゆとり、渡辺みち子、渡辺哲男、渡辺容子、渡辺建設工業(株)、渡井公平、渡辺一、渡辺良子、大木光子、伊奈秀雄、猪目佳宏、増田祥治、滝田博、荒川さき子、(有)アダモ、平林さち子、荒川製麺、(株)アマノ、アスト(株)、旭産業(株)、石川米店、(株)いわしや綿織医科器械、(株)市川商店、内田牛乳店、加藤卯三郎商店、(株)角山、(株)クレシア、サンワールド、佐野牛乳、サンフード、シャトレレーゼ、昭新紙業(株)、タイコー、田中薬品(株)、ダスキン、藤原、(株)ディペンロイ、長谷川米店、福田屋商店、富士ミルクセンター、富士製パン、フューチャークルー、ブローニョ、(有)メイプル、ヤマヨ食品ストア、ヤクルト吉原センター

いただきます

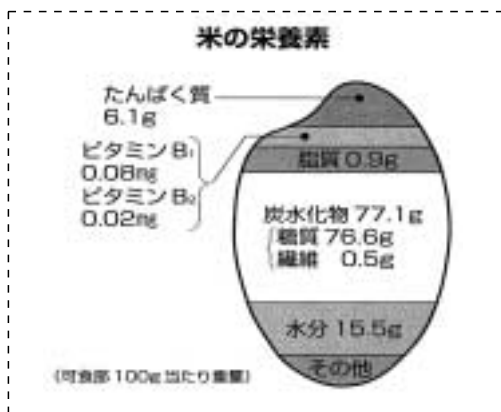


お米は 2000 余年の昔から、日本人の主食として食の文化と伝統を培ってきました。

お米は、わが国の気候・風土に適している食品であると同時に、栄養学的にもすぐれた食品であり、食料の安定供給という観点からも、たいへん頼りになる食品です。こうしたよさをもつお米をもう一度見直してみたいものです。

私たちが 1 日に必要とするエネルギーは、糖質・脂質・たんぱく質を給源としますが、健康のためには、糖質から 55～60%、脂質から 20～25%、たんぱく質から 15% 程度の割合で摂取することが望ましいのです。

ところが米の摂取が減りつつけているため、糖質の割合が低下し、脂質の割合が高くなり過ぎています。こうした傾向が今後も続くと、生活習慣病の増加が心配されます。



お米は、効率のよいエネルギー源として知られていますが、良質のたんぱく質も豊富で、そのアミノ酸組成もすぐれています。

その他、ビタミンやミネラル、子どもの成長に大切なリジンを含んでいるうえに、消化・吸収率が 98% とすぐれているのも大きな特徴です。



Q. 茶わん 1 杯いくらかな？

A. 茶わん 1 杯のご飯は約 150 g くらいです。これを炊く前のお米(精米)に置き換えると 65 g のお米の値段は、買う場所やお米の種類によっても少し違いますが、ひまわり園での納品価格は約 24 円です。食パン 6 枚切りで 1 枚は約 33 円。スパゲティー 100 g で約 29 円、焼きそば蒸し麺 1 食 53 円です。この様に比べてみると、体にもよく、お得な食べ物だとわかります。



Q. どんな品種のお米があるのかな？

A. 稲は熱帯生まれの植物ですが、日本各地の気候や条件に合わせた品種改良が重ねられて、今日では、おいしくて寒さに強い品種や病気に強い品種など、いろいろな品種のお米が作られています。
静岡県→コシヒカリ・キヌヒカリ・あいちのひかり
愛知県→あいちのひかり・コシヒカリ・あさひの夢
山梨県→あさひの夢・コシヒカリ・ひとめぼれ
神奈川県→キヌヒカリ・コシヒカリ・さとじまん
東京都→キヌヒカリ・コシヒカリ・アキニシキ
他にもゴロピカリ・彩のかがやき・森のくまさん・夢しずく・てんたかく・五百万石・きぬむすめなど変わった名前の品種がたくさんあります。

Q. お米の加工食品にはどんなものがあるの？

A. お米は、白飯や料理で食べるほかにも、お菓子や調味料などの主原料や副原料として使われています。また、お米から取り出したデンプンは、調理食品などに幅広く使われています。

お米の形を残して使う

- ・レトルト米飯などの「加工米飯」
- ・玄米を発芽させた「発芽玄米」
- ・精白米に熱と圧力をかけてふくらませた「ポン菓子」
- ・玄米茶 など

発酵させて使う

- ・日本酒・焼酎・みりん・米酢・米みそ
- ・米こうじ(甘酒・べったら漬けなど)

お米を粉や砕いて使う

- ・もち米から作る「白玉粉」・「もち米」・「道明寺粉」
- ・うるち米から作る「せんべい」
- ・せんべい風やフレーク状のスナック食(玄米フレーク)
- ・「米粉パン」や「クッキー、ケーキ」などの洋菓子
- ・うどんなどの「米粉麺」や「ビーフン」
- ・「から揚げ粉」や「天ぷら粉」 など
- ・くめかを使う
- ・ぬか床、ぬか漬



つぽやま

地上デジタル放送

二〇一一年に地上波デジタル放送に切り替わるという事を頻りにテレビなどで騒いでいます。従来のテレビ放送(地上アナログ放送)は二〇一一年の七月に終了することが予定されています。地上波デジタル放送対応のテレビを購入し、テレビの電源を入れればすぐに受信できると思っていました。自宅で見ているテレビはまだアナログ放送だという家庭は多いようです。特に高齢者の一人暮らしの人などは、この状況を分かっていないのでしょうか。人に聞いてみると、テレビだけを変えてもアンテナを地上波デジタルのものにしなければならなかったり、今のテレビにチューナーとなるものを取り付けねば、デジタル放送を見れると言った事になります。アンテナにしても、テレビにしても、チューナーにしても高額なものです。更に勉強不足かも知れませんが地上波デジタル放

送になるメリットも良くわかっていない、四十才代の自分でもついていけないのに高齢者の方はもっと訳も分からないのではないのでしょうか。風間からテレビを見ている高齢者の方は多いと思います。デイサービスに来ている人達に話を聞くと外出するのは難しい人などは特にテレビは強い味方であるし、生活にはなくてはならないものであると思えます。そのテレビが映らなくなるとなれば、非常に困る人も多いのではないのでしょうか。テレビやアンテナ、チューナーが高額である事も困りますが、地上波デジタル放送のシステムがわかりにくい事はもっと怖いのではないのでしょうか。一人暮らしを狙った悪質なサギが多い中、更に増えるのではないのでしょうか。今、テレビを楽しんでいる高齢の一人暮らしの方が、今後安心してテレビを楽しむのか不安になりました。もっ少し、簡単な説明やシステムをみんなにできるように良いかなと思います。

芙蓉会

後援会だより

後援会会員芳名 敬称略・順不同

- 青山百合子 内藤恵美子
- 伊藤 芳亮 芳賀正治
- 内田牛乳店 芳賀道子
- 佐藤健治 古郡久子
- 齊藤青無 望月誠二
- 白井ひろみ 望月保夫
- (有)鈴吉商店 望月瑠美子
- 芹澤すみ子 吉原教会
- 月岡米子 渡辺 一
- 戸塚保次 ヤマグチ電機(株)
- 戸巻紀美子

後援会について

年間会費	1口	1,000円
個人会費	1口	3,000円
社会		
団体		
何口でも結構です		
振込先		
郵便局振替口座		
・口座番号	00880-0-	2423
・口座名称	芙蓉会	後援会

これからのお仕事

10月

- 福祉展 (みぎ) (ナイ)
- 市民福祉まつり (ひ)
- 運動会 (み)

11月

- 七・五・三 (ひ) (み)
- 文化祭 (ナイ)
- 遠足 (み)

12月

- クリスマス会

編集後記

今回の『芙蓉』楽しんで頂けたでしょうか。『芙蓉』は芙蓉会の各施設から職員が集まって編集しています。読者の皆様あつての広報誌ですから、「ご意見」「ご要望」「ご感想」など各施設の職員にお伝えいただければ幸いです。